

Injury Alert (傷害速報)類似事例

スチーム式加湿器による全身熱傷 (No93 スチーム式加湿器による背部熱傷の類似事例 2)

事例	基本情報	年齢：1 歳 4 か月 性別：女児 体重：9kg 身長：78.5cm
	家族構成	父、母、姉 1 人、本児
	発達・既往歴	異常なし
臨床診断名		Ⅱ度熱傷（顔面、体幹、四肢）
医 療 費		11,095,580 円
原因 対 象	対象名称	スチーム式加湿器（内容量 4L）
	入手経路 使用状況	オンラインで購入し、寝室の高さ 50cm の台上に置いて使用していた。事故当時は 100 度のお湯が全容量の 3 分の 1 程度入っていた。
発 生 状 況	発生場所	自宅の寝室
	周囲の人 周囲の環境	ここをクリックしてテキスト入力母と同胞が同室にいたが、本児は母から見えない位置にいた。
	発生年月日	2023 年 3 月 X 日（土） 午前 7 時 00 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	本児の母親が自宅の寝室にある加湿器に水を追加しており、本児と同胞も同室内にいた。本児の同胞に呼ばれたため、母親が加湿器の蓋を開けたまま加湿器のそばを離れた(図 1)。本児は加湿器のある部屋の中を歩いていた。約 20 秒後に、突然児の泣き声が聞こえたため母親が様子を伺うと、加湿器が置いてあった台の側で本児が四つ這い位で受傷していた。加湿器は本児の近くの床に横になって転がっており、加湿器内の熱湯を浴びたものと考えられた。午前 7 時 21 分に母親が救急要請し、医療機関へ搬送となった。

医療機関受診時以降の治療経過 転帰	午前 7 時 54 分に医療機関に搬入された。バイタルサインは心拍数 132 回/分、呼吸数 30 回/分と軽度の頻脈、頻呼吸を認めたのみで、Ⅱ度熱傷 39.5%TBSA (左頬部 0.5%、左胸腹部 15%、右上肢 4%、左上肢 6%、右下肢 6%、左下肢 8%)が確認された。入院時の呼吸状態は安定していたが、X+3 日目に fluid overload による肺水腫を来したため一時的に経鼻ハイフロー療法を行った。また、X+3 日目から発熱があり、X+4 日から X+6 日の期間で抗菌薬の投与を行った。X+12 日目に自家皮膚移植を施行し、術後は移植後の部分が安定するまで鎮痛・鎮静薬の使用下に人工呼吸器管理を要した。また、皮膚移植後から X+19 日目まで感染予防のため抗菌薬投与を行った。その後は形成外科にて処置を継続し、X+48 日に退院した。退院後もケロイドによる運動機能異常の治療のため外来通院を継続中である。
キーワード	熱傷、熱湯、加湿器、人工呼吸器、手術

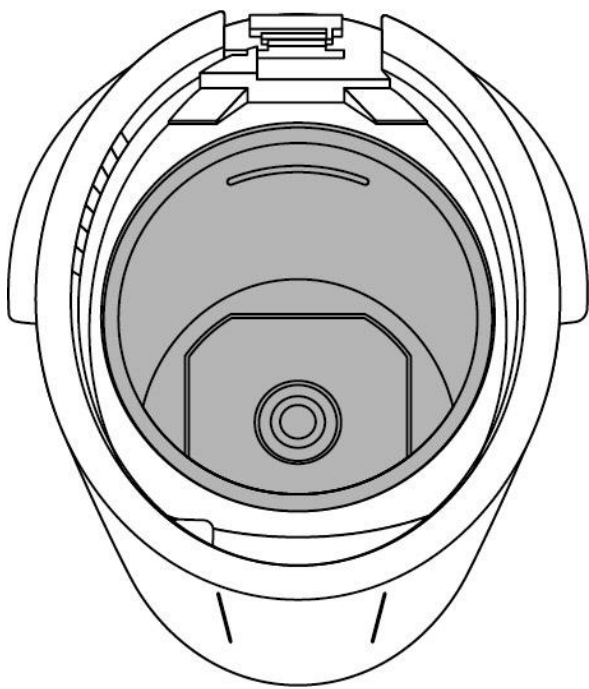


図 1 蓋を開けて水^水を補充するタイプの加湿器